

進路シラバスについて

進路指導部 橋 口 毅

1. 作成の経緯

本校では平成18年度に進路シラバスが完成し、19年度より活用を始めて今年度で4年目になる。私自身は本校の進路シラバスの立ち上げに関わった訳ではないが、他校のものを参考にしながら進路企画系の先生方が苦労を重ねて作成したと聞いている。「シラバス」という言葉を辞書で引いてみると「講義・授業の大まかな学習計画のこと」とある。すなわち進路シラバスとは学年ごとの、または3か年を通しての、進路実現に向けた大まかな行動計画・実践計画を示したものである。シラバスを作成する利点としては「進路実現に向けた流れを生徒や保護者が理解し、円滑に行動・実践することができる」、「教員にとっても、生徒に対して円滑に指導を進められる」ということが挙げられるのではないだろうか。作成に至った理由は下記の□～□の通りである。

- 本校は標準勤務年数が4年で職員の入れ替わりが激しく、引き継ぎを円滑にするため
- 平成18年度の数年前から進路指導の体制が変わったから（進学希望者の増加）
- 普通科設置校であるが、進学コース、情報ビジネスコース、教養コースの3つのコースがあり、生徒・保護者に3か年の進路指導の流れが分かりにくいから
- 進路シラバスを作成することで進路行事の整理・精選を行うため

各年度末に進路企画係が中心となり、実施する模擬試験や検定試験の内容や時期、総合学習の取り組みなど学年や各教科と連携しながら加除訂正を行っている。基本的な形式や大まかな流れは、完成当初のものを踏襲している。

2. シラバスの活用

- 各教科のシラバス（冊子）と一緒に配付し、保護者・生徒に示している。
- 5月にあるPTA総会の資料の一部として活用している。
- 全職員に配布し、本校の進路指導の流れと仕事内容の確認に利用している。

3. 現状と課題

作成時の労力の割に活用される場面が少ない。進路指導部に属している一部の教員は、それなりの活用場面があるが、そうでない教員が活用していることは少ないと思われる。生徒に関しては、目を通したことがない者もいると思われる。進路シラバスは毎日のように目を通し、活用するものではないのかもしれないが、学級に掲示したり、SHRや終礼、進路に関する各行事（模擬試験や検定試験も含む）等の折に利用しても良いのではないだろうか。

本校の進路に関する課題として大学進学希望者に対する指導体制の確立が挙げられる。今後、進路指導部と各教科が連携を取りながら、個別指導や小論文指導、漢字検定や英語検定等への取り組みをしていくなかで、進路シラバスの活用は不可欠ではないだろうか。

進路シラバスに限らず、作成する以上どんどん活用されるべきである。今後、効果的な活用法については一層研究し実践していくことが必要である。

4. 進路実績

下記は進路シラバス導入後の、各年度ごとの進路実績である。年によって生徒の進路希望に差があるが、例年進学も就職もほぼ100%の実績を上げている。平成16年度までは、30%程度の生徒が進路未定のまま卒業したという過去のデータも残っていることを考えると、ここ数年の実績は安定している。難関と言われる国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校、就職と進路希望が多岐に渡る本校では、焦点を絞った進路指導は難しい面がある。ややもすると、生徒は易きに流れてしまう。それに対する教員の意識、取り組みは非常に重要である。そういった意味では進路シラバスを作成しようという気運が高まり、平成18年度に完成、19年度から活用が開始されたということは非常に大きな一歩である。過去に本校に在籍された先生方の思いを引き継ぎながら、さらに発展・前進させていくことが、今後ますます重要になってくるのではないだろうか。

卒業年度	卒業生数	四年制大学		短期大学		専門学校	就職	その他 (未決定)
		国公立	私立	国公立	私立			
H19	66	2	11	1	3	33	20	1
H20	62	1	3	1	3	31	20	3
H21	56	2	11	1	3	25	12	1
H22	45	4	1	0	4	21	11	4

※ 平成22年度は1月31日現在の数値

5. 平成22年度卒業生の合格・内定先一覧

(1) 四年制大学

宮崎大学（農学部・海洋生物環境学科） 島根県立大学（総合政策学部・総合政策学科） 志學館大学（人間関係学部・人間文化学科）	宮崎大学（農学部・森林緑地環境科学科） 兵庫県立大学（経済学部・国際経済学科）
---	--

(2) 短期大学

鹿児島女子短期大学（生活科学科・食物栄養学専攻） 鹿児島女子短期大学（児童教育学科・幼保コース）	鹿児島純心女子短期大学（英語学科） 東海大学福岡短期大学（情報処理科）
---	--

(3) 専門学校

奄美看護福祉専門学校（介護福祉学科） 鹿児島医療福祉専門学校（理学療法学科） 鹿児島医療技術専門学校（理学療法学科・夜間） 久木田学園看護専門学校（看護学科） 鹿児島県美容専門学校（美容科・通信） 麻生医療福祉専門学校（介護福祉科） 高津理容美容専門学校（美容科） 京都調理師専門学校（総合調理科） 東京デザイナー学院（プロダクトデザイン科）	奄美看護福祉専門学校（看護学科） 鹿児島医療福祉専門学校（看護学科）2名 神村学園専修学校（作業療法学科）2名 加治木看護専門学校（看護学科）2名 タラビューティ専門学校（美容科） 福岡医療秘書福祉専門学校（診療情報管理士科） 高津ライフ・ケア専門学校（介護福祉科） 日本医歯薬専門学校（歯科衛生士学科） 日本工学院八王子専門学校（CGクリエイター科）
---	--

(4) 就職

株式会社泰江組（瀬戸内・工事事務） 株式会社拓洋まるあ真珠事業部（宇検・養殖作業員） 株式会社イケダパン（鹿児島・生産職） 株式会社総合サービス（大阪・サービス業） 株式会社箱根カントリー倶楽部（神奈川・キャディ）2名	株式会社藤田建設（瀬戸内・技術職） 静ガス設備（奄美・事務） 全世界空手道連盟新極真会（福岡・指導員） 株式会社大樹（埼玉・一般事務） 有限会社樓外樓（東京・ウェイトレス）
---	--

平成22年度 古仁屋高等学校 1学年 進路シラバス 生徒・保護者用

1 進路目標

- (1) 古高生としての自覚を持ち、服装容儀・遅刻欠席・あいさつといった生活面をしっかりと「自律心」を身に付ける。
- (2) 部活動へ積極的に参加し、文武両道を目指す。
- (3) 基礎学力の徹底を図り、自ら学びに向かう習慣を確立する。(環境づくり、課題の提出など)
- (4) 二者面談や三者面談を活用して自分の進路についても先生方に相談し、進路目標やコース選択について具体的に考える。

2 進路プロセス

月	主な学校行事	試験・模試等	検定試験	進路目標	進路実践	ストグレ(総合学習)
4	入学式 家庭訪問 古北戦	課題考査 スタディサポート		[適応・生活指導] 高校生活に適応し、中学校から高校へ学習スタイルを転換、習慣化する。また、高校生として生活面(服装、授業態度等)をしっかりとする。	○中学生から高校生への転換。服装容儀・遅刻欠席・あいさつといった生活面をしっかりと。また、学習の記録や各教科の課題をしっかりと提出する。 学習オリエンテーション：高校生としての授業の受け方、予習→授業→復習のサイクルが確立できるように高校の学習の仕方を学習する。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。 朝課外スタート：高校生活のリズムを作り、遅刻・欠席がないようにする。	オリエンテーション
5	P T A 古高会講座 生徒総会 第1回教育相談	中間考査			進路希望調査：現段階での進路希望を記入する。進路室やインターネット等を活用し将来の進路を調べる。 ○教育相談では学校生活について等、家庭訪問では相談できなかった様々なことを相談する。 ○高校生活初めての定期考査(中間考査)。今後の学習がスムーズに進むようしっかりと学習に取り組む。 進路実現に関わってくる評定平均につながる。	自己理解 (生徒理解調査等の実施)
6	体育祭		第1回英語検定	[自己理解] 将来の夢や希望を持つとともに、自分の興味・関心がどこにあるのか、またどのような人生を送りたいのかを考える。	○6月より英語、ワープロ、漢字等の検定が続く。授業や課外にしっかりと取り組み進路につながるよう合格を目指す。 生徒理解検査：自己の特徴を捉え、進路研究に役立てる。 宅習時間調査：宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習量を増やす努力をする。	テーマ学習1 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
7	クラスマッチ 終業式 夏休み	期末考査	全商ワープロ検定		進路ガイダンス：進学希望者は上級学校の説明を直接聞き、進路意識の高揚を図る。就職希望者は就職についての基本的な心構えと身につけておくべき事項を学ぶ。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○夏季課外を通して生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。 夏季課外前期：基礎学力の定着が目標。遅刻・欠席がないように注意する。	テーマ学習2 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
8	夏休み		漢字能力検定	課外授業や課題を通して、基礎学力を充実させる。	○夏季課外のない時期にオープンキャンパスに参加する。 ○夏季課外、夏休みの課題を通して基礎学力を充実させる。また、コース選択に向けて進路研究を行う。 夏季課外後期：基礎学力の定着が目標。遅刻・欠席がないように注意する。	
9	始業式 1学年P T S	課題考査		[職業研究] さまざまな進路があることを知り、理解を深める。自己の適正についても考え、進路選択の参考にする。	○2学期の始まりに際し生活のリズムを整える。また、夏休みの提出物をしっかりと期限内に出す。 ○1学年P T Sは主にコース選択について。生徒、保護者でよく話し合って自分の進路を考え、コースを決めるようにする。 進路講演会：外部講師の講演を聴くことで自分の進路について考える。	テーマ学習3 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
10	文化祭	中間考査			進路希望調査：進路研究のきっかけとし、進路室やインターネット等を活用して調べる。その際、コース選択についてもよく考える。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	テーマ学習4 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)

11	集団読書 第2回教育相談	進路マップ (第3回基礎力 診断) 期末考査	全商ワープロ検定	[コース選択] コースについての理解 を深め、就きたい職業 と高校卒業後の進路希 望から、コース選択を 考える。	大学出前講座：興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。 ○第2回教育相談では、コース選択についてのことも担当の先生に相談する。 宅習時間調査：宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習 量を増やす努力をする。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	職業観の育成(企業訪問の準備と実施)
12	クラスマッチ 終業式 冬休み				○一年間を反省し、来年の進路目標を設定する。 ○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち、冬季課題は早めに終わらせ、1月にある課題考査に備 える。また進路についても調べ、コース選択を決定する。	課題研究1(グループごとに課題を決 め、調べ、発表する)
1	始業式	課題考査 1月進研模試 進路マップ(第 4回基礎力診 断)	第3回英語検定	[目標設定] 進路目標の方向を定 め、大まかに進路計画 を設定する。	センター試験：大学・短大希望者は大学の入試制度について調べ、センター試験について知る。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	課題研究2(グループごとに課題を決 め、調べ、発表する)
2	1・2学年PTS 加計呂麻遠行	学年末考査	第3回漢字検定		○学年末考査に向けてしっかりと学習に取り組む。評定平均につながる。 進路ガイダンス：進学希望者は各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職 希望の生徒は就職についての基本的な心構えと、身につけておくべき具体的事項を確認する。 進路体験発表：3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考 とし意識を高める。	課題研究3(グループごとに課題を決 め、調べ、発表する)
3	卒業式 高校入試 終業式 春休み			[情報活用] 情報を活用する姿勢を 身につける。	進路希望調査：進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所 について調べる。 ○2年次のコース選択に応じた準備をする。規則正しい生活を心がけ、学習時間をしっかり確保する。苦 手科目・分野の克服に努める。	人生設計を描く

1 進路目標

- (1) 中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。
- (2) 一人一人が自己の能力・適性を自覚するとともに、職場体験学習を通して働くことについて学ぶ。
- (3) 現実的な選択に向けて具体的に進学・就職先を研究し、希望進路実現のために積極的に学習できる集団を目指す。
- (4) 様々な資格・検定試験に挑戦し、主体的に学ぶ力を身につける。

2 進路プロセス

月	主な学校行事	試験・模試等	検定試験	進路目標	進路実践	ストグレ(総合学習)
4	始業式 家庭訪問 古北戦	課題考査		[自己理解] 自己の適性・関心を考え、自己理解を深める。	○1年次より学習内容が難しくなる。宅習時間を増やし、予習→授業→復習のサイクルを確立する。 ○コース制での授業が始まる。自分の進路目標に向けて授業や課題等にしっかり取り組む。 朝課外スタート :基礎学力の定着・定着や、進路実現に向けての学力補充が目的。遅刻・欠席がないように生活のリズムを整える。	オリエンテーション
5	P T A 生徒総会 第1回教育相談	中間考査		[進路先の研究] 就職、専門学校、短大、大学のいずれを選択するかを絞り込み、希望分野について研究する。	進路適性検査 :自己の適性・関心を知り、進路研究に役立てる。 進路希望調査 :進路研究を深めるために、進路室やインターネット等を活用して学校・事業所について具体的に調べる。 ○教育相談を活用して、学校生活(学習・進路・部活動等)や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	職業観の育成 (就職の心構え・履歴書の記入)
6	体育祭		第1回英語検定 全商珠算・電卓検定		○6月～7月は資格・検定試験が集中する。合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 宅習時間調査 :宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習量を増やす努力をする。	職業観の育成 (実習先開拓・インターンシップの準備)
7	クラスマッチ 終業式 夏休み	期末考査 進研模試 進路マップ	全商ワープロ検定	職場体験を通して自己の能力・適性を自覚し、職業観を養う。	○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 進路ガイダンス :進学希望者は各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は就職についての基本的な心構えと、身につけておくべき具体的な事項を確認する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外を通して生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。 夏季課外前期 :1年と2年1学期の復習に努める。遅刻・欠席がないように注意する。 職場体験学習 :職場体験学習を通して働くことについて学び、自分の進路を考える。	職業観の育成 (インターンシップの準備)
8	夏休み		漢字能力検定		○夏季課外のない時期にオープンキャンパスに参加する。 夏季課外後期 :前期に引き続き遅刻・欠席がないように注意する。	
9	始業式	課題考査	全商英語検定 全商情報処理検定		○9月～11月にかけて資格・検定試験が集中する。合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 ○就職試験、専門学校推薦入試まであと1年。進路を具体的に考えなければならない。進路学習を深め、準備を始める。3年生の動向にしっかり目を向ける。 教育相談 :担当の先生に進路について相談し、志望先の絞り込みを行なう。 進路講演会 :外部講師の講演を聴き進路について考える。	修学旅行の調べ学習
10	古高会講座 文化祭	中間考査	第2回英語検定	[希望進路の決定] 就職ならば業種、進学ならば学部・学科を明確に決	○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 古高会講座 :先輩の話を聴き、自分の生き方について考える。 進路希望調査 :進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について詳しく調べる。	文化祭準備 修学旅行の調べ学習

11	集団読書 2学年PTS 第2回教育相談	進研模試 進路マップ 期末考査	全商珠算・電卓検定 全商ワープロ検定	め、志望先を絞り込む。	<p>大学出前講座: 興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。</p> <p>宅習時間調査: 宅習時間調査を活用する。日ごらの生活（就寝・起床・食事・学習時間等）を見直し、宅習量を増やす努力をする。</p> <p>○教育相談を活用して、学校生活（学習・進路・部活動等）や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。</p> <p>○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。</p> <p>○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。</p>	修学旅行の調べ学習
12	クラスマッチ 修学旅行 終業式 冬休み				<p>○一年間を反省し、来年の進路目標を設定する。</p> <p>○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち、冬季課題は早めに終わらせ、1月にある課題考査に備える。</p>	修学旅行の調べ学習・事後のまとめ
1	始業式	課題考査	全商簿記検定 全商情報処理検定 第3回英語検定	[進路計画・目標] 進路希望実現のために進路計画を立て、目標を設定する。	<p>○1月は資格・検定試験が集中する。合格を目指し意欲的に学習に取り組む。</p> <p>センター試験: 進学コースの生徒は来年度に向けて本年度の問題を解き今後の学習に生かす。</p> <p>○特に国公立大のAO・推薦入試希望者は3年1学期を目標に、漢検・英検の2級取得を目指す。</p>	修学旅行のまとめ
2	1・2学年PTS 加計呂麻遠行	進研マーク模試 進路マップ 学年末考査			<p>進路ガイダンス: 進学希望者は各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は就職についての基本的な心構えと、身につけておくべき具体的事項を確認する。</p> <p>進路体験発表: 3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考とし意識を高める。</p> <p>○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。</p> <p>○志望校について受験方法や受験科目等を具体的に調べ、対策を始める。面接ノートを作成する。</p> <p>○今年度の求人票に目を通し、求人内容の確認や傾向を把握し試験に向けての準備を始める。</p> <p>○学年末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。</p>	進路の自覚（進路研究）
3	卒業式 高校入試 終業式 春休み				<p>進路希望調査: 進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について詳しく調べる。</p> <p>就職ガイダンス: 仕事についてのグループ学習や面接練習を通して就職活動や就労環境に関する知識を習得する。</p> <p>○苦手科目や苦手分野の克服に努める。</p> <p>○オープンキャンパスに参加する。</p>	進路の自覚 (進路について考えさせる)

平成22年度 古仁屋高等学校 3学年 進路シラバス 生徒・保護者用

1 進路目標

- (1) 最高学年としての自覚を持ち、学習面・生活面で下級生の模範となるような集団を目指す。
- (2) 進路実現のため、朝課外・夏季課外などの課外授業や小論文・面接指導などを効果的に利用する。
- (3) 自分の能力や適正を的確に把握し、主体的に進路決定ができるように、進路に関する準備を早期に行う。
- (4) 二者面談・三者面談を効果的に活用して進路を決定し、十分な宅習時間を確保する。

2 進路プロセス

月	主な学校行事	試験・模試等	検定試験	進路目標	進路実践	スットグレ(総合学習)
4	始業式 家庭訪問 古北戦	課題考査		[目標設定] 進路目標を設定し 目標達成のために志望校・就職先のことについての研究を始める。進路実現のために基礎学力を養成する。	家庭訪問 : 志望校や志望業種、受験日程や学費、年間の流れなど担任・生徒・保護者で具体的な話をする。 朝課外スタート : 進路実現に向けて基礎学力の定着が重要である。遅刻・欠席がないように朝課外に目標を持ってしっかりと取り組む。	進路を考える (志望校・就職先についての研究)
5	P T A 生徒総会 第1回教育相談	中間考査			○部活動生は高校総体に向けて完全燃焼する。また、これまでの進路研究の結果や自分の学力、適性等を踏まえて、志望校や志望業種を絞る。 進路希望調査 : 志望校・志望業種について具体的に研究する。 第1回教育相談 : 志望校・志望業種について担任に相談する。進路実現に向けて努力目標を設定し、年間の流れや必要事項の確認をする。	進路を考える (願書・履歴書の作成方法)
6	3学年PTS 体育祭	進研マーク・ 進路マップ(第1回 実力診断)	第1回英語検定 全商珠算・電卓検定 全商簿記実務検定	[志望校・受験校・受験企業の決定] これまでの進路研究の結果と自分の学力を踏まえて、受験校・受験企業を決定する。	○部活動を引退する生徒が増える時期であり、本格的に進路実現に向けて気持ちを切り替える。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 宅習時間調査 : 宅習時間調査を活用し、日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習の時間)を見直し、規則正しい生活に努め、宅習量を増やす。 3学年PTS : 進路決定までの流れを確認する。間もなく求人受付が始まる時期であり、就職希望者は特に気を引き締める。国公立大のAO・推薦試験を希望する者は準備に取りかかる。 進路ガイダンス : 就職希望者は進路ガイダンスを通して就職試験に向けた実践的な練習を行う。また、進学希望の生徒は、進路希望に近い学校・学部等の説明を聞き、学習へのモチベーションを高める。 放課後学習の開始 : 進学コースを中心とした生徒が参加し、進路実現に向けて放課後に自学自習を行なう。	進路を考える (志望理由書の作成)
7	クラスマッチ 終業式 夏休み	期末考査 進研記述 小論文模試	全商ワープロ実務検定 漢字能力検定		求人受付開始 : 就職希望者は出来るだけ多くの求人票に目を通し、担任・保護者と話し合いを重ねて受験する企業を決定する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 夏季課外前期 : 教科の授業のほかに、進路実現のため進路学習(面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の準備等)もある。遅刻・欠席がないように注意する。(小論文模試) 島内企業見学 : 島内の企業、ハローワークを訪問し就職に対する意識を高める。 三者面談 : 進学・就職希望先の最終決定を行う。また、受験科目・日程、今後の課題等の確認を行う。	進路を考える (志望理由書の作成・面接の練習)
8	夏休み	代ゼマーク模試		生活リズムを乱しやすい時期であるので、規則正しい生活を心がける。推薦試験希望者は、面接・小論文等の練習に力を入れる。	○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外を利用し、センター試験に向けた基礎学力の充実をはかる。国公立大学の推薦入試希望者は小論文・面接対策を進める。また、就職、専門学校推薦入試希望者は出願、面接、小論文等の準備を行う。 ○夏季課外がないときに、オープンキャンパスや企業見学に参加する。	

					<p>面接指導の開始: 日ごろの言葉遣いや挨拶が大事。「面接必携」をしっかりと記入し、担当の先生と練習する。</p> <p>推薦委員会の開始: 第1回は就職希望者中心。第2回は専門学校希望者中心。面接や志望理由書等の提出が必要。学校への提出書類は期限を厳守する。</p> <p>夏季課外後期: 教科の授業のほか、進路学習(面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の作成等)も実施する。遅刻・欠席がないように注意する。</p>	
9	始業式	課題考査	全商英語検定 全商情報処理検定	<p>[就職試験] 雇用状況が厳しく求人も少ない。一社目で内定を勝ち取る。</p> <p>[推薦入試] 受験対策に努める。特に面接や小論文等の練習は早期に、継続的に担当の先生と取り組む。</p>	<p>○9月1日、就職関係応募書類発送。9月16日～就職試験開始。 面接練習・筆記対策等に全力を注ぐ。</p> <p>進路講演会: 外部講師の講演を聴き、自分の進路についての意識を高める。</p> <p>推薦委員会: 大学・短期大学希望者中心。面接や志望理由書等の提出が必要。学校への提出書類は期限を厳守する。</p> <p>○就職希望者で内定通知が届いた者は、お礼状を作成・送付する。</p>	進路を考える(面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
10	文化祭	中間考査 進研記述	第2回英語検定		<p>1人2社制スタート: 10月より1人で複数企業の受験が可能となる。積極的に受験するようにする。</p> <p>○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。</p> <p>専門学校推薦入試の出願: 出願書類に不備がないか確認する。面接・作文・小論文・学科試験等の対策に全力を注ぐ。</p> <p>センター試験出願: 出願書類に不備がないか注意する。</p> <p>専門学校推薦入試の開始</p> <p>内定者PTS①: 進路決定者(生徒・保護者)が参加する。</p>	進路を考える(面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
11	集団読書 第2回教育相談	進研マーク 期末考査	全商珠算・電卓検定 全商ワープロ検定 日商簿記検定 漢字能力検定	<p>[継続] 希望進路実現のために粘り強く取り組み、合格できる学力を身に付ける。</p>	<p>専門学校合格発表: 提出書類、納入金等を確認し期限を厳守する。課題等の提出がある場合は、しっかりと取り組む。</p> <p>○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。</p> <p>○進路内定者は学級やコースの雰囲気づくりに気を配る。検定や期末考査が集中する時期でもあり、目標を切り替えて学習に励む。センター試験受験者は、授業・課外授業等を利用してマークテスト対策を行う。</p> <p>大学出前講座: 大学・短大を受験する生徒は、希望に近い系統の講座を受講し、大学・短大の授業について学ぶ。</p> <p>大学推薦入試の開始</p> <p>内定者PTS②: 進路決定者(生徒・保護者)が参加する。</p>	進路を考える(面接・小論文の練習、社会人としての心構えの養成)
12	クラスマッチ 終業式 冬休み		県商簿記検定		<p>○センター試験に向けての追い込み。過去問等で問題演習を重ねる。また、生活のリズム(寝る時間・起きる時間)を一定にして、体調管理に気を配る。</p> <p>内定者PTS③: 進路決定者(生徒・保護者)が参加する。</p> <p>冬季課外: センター試験パック模試等を活用し、センター試験に向けての最終調整を行う。</p>	進路を考える(面接・小論文の練習、社会人としての心構えの養成)
1	始業式 3学年PTS	課題考査 卒業考査	第3回英語検定 全商簿記検定 全商情報処理検定	<p>[進路未決定者] 大学希望者はセンター試験、2次試験等に向けて全力を尽くす。専門学校希望者は試験日程等を確認し、学習も含め準備をする。就職希望者は積極的に受験機会を生かす。</p>	<p>○進路未決定者は焦りが出てくる時期だが、あきらめず最後まで努力する。</p> <p>冬季課外: センター試験パック模試等を活用し、センター試験に向けての最終調整を行う。</p> <p>○センター試験利用私立大学受験者はセンター試験前出願が増えているので注意する。</p> <p>センター試験: 体調管理をしっかりと、全力を出し切る。</p> <p>朝課外終了</p> <p>出願決定のための三者面談: センター試験の自己採点を参考に、大学について詳細に調べ、担任や保護者と相談して出願校を決定し出願する。</p> <p>卒業考査: 最後の定期考査である。しっかりと復習して試験に臨む。</p> <p>3学年PTS: 今後の日程、注意点等について確認する。</p>	高校生活のまとめ(上級学校や職場への適応を高める)

2	自宅学習 古高会講座			<p>[新生活へ向けて] 進路を決定し、上級学校や職場への 適応を高める。専門分野の学力や社 会人としての心構えを養成する。</p>	<p>○自宅学習期間を有意義なものにする。進学先での学習に向けて学習習慣を身に付ける。入学 手続き等も確実にを行う。就職内定者は企業からの赴任通知を確認する。 ○進路未決定者は個別指導を受ける。最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒 は、赴任日までに確実に取得する。 進路体験発表(3年合格者体験談)：1・2年生に向けて合格体験談を話す。 私立大学一般試験 私立大学一般試験合格発表 国公立大学前期試験</p>	
3	卒業式				<p>○進路未決定者は個別指導を受ける。最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒 は、赴任日までに確実に取得する。 国公立大学前期試験合格発表 国公立大学後期試験 国公立大学後期試験合格発表</p>	